

一般社団法人リノベーション協議会との 「既存ストックの活用促進に向けた連携協定」の締結について

1 要旨・目的

持続可能なまちづくりの実現に向けて「中古住宅の流通促進」を図るため、一般社団法人リノベーション協議会と「既存ストックの活用促進に向けた連携協定」を締結し、官民で連携しながら「リノベーション」の普及促進に取り組む。

2 現状・背景

- 人口減少と少子高齢化の進行が予測される中、都市部で空き地や空き家がランダムに発生する「都市のスポンジ化」や、郊外での低密度な市街地の形成が進み、行政サービスの水準低下や公共交通ネットワークの縮小などが懸念されている。
- 持続可能なまちづくりの実現に向けて「集約型都市構造の形成」及び「中古住宅の流通促進」を推進するため、今年度から新たに、広島県と多様な主体が連携し、県内の各拠点エリアの賑わい創出やリノベーションの普及促進に取り組む「ひろしまライフスタイルプロジェクト」を進めており、リノベーション協議会もこのプロジェクトに参加している。

3 概要

(1) 協定締結の相手方

概要	名称：一般社団法人リノベーション協議会 代表者：理事長（代表理事） 山本卓也 所在地：東京都渋谷区渋谷2丁目2番2号	 かえる。くらし。すまい。 リノベーション協議会
設立目的	リノベーションによる既存ストックの性能や価値の再生・向上によって、住宅を求める生活者が自分の価値観に合わせて、無理なく自由な住まい選びができる市場をつくり、その先に結実するストック型社会の到来により、地球環境にやさしく、真に豊かな住生活の実現に寄与する。	
会員数	809社（R5.6.26時点）	

(2) 協定内容

既存ストックを活用した豊かな暮らし・住まいづくりを促進することを目的として、相互連携の下、次の各号に掲げる取組を推進する。

なお、具体的な取組内容は今後、両者協議の上、決定する。

ア 地域活性化に繋がる既存ストックの活用促進に関すること。

イ 自分らしい暮らしを実現するためのリノベーションの普及啓発に関すること。

ウ 安心して快適な住まいの提供に向けたサービスの品質向上に関すること。

(3) 協定締結式

日時：令和5年7月7日（金）17時～17時15分

場所：広島市中区三川町3-21

KIRO Hiroshima by THE SHARE HOTELS

3F THE POOLSIDE BAR（右写真）

出席者：湯崎知事、協議会理事長



（写真提供）株式会社リビタ

【参考】協定締結式の会場（KIRO）について

- ・協議会会員の株式会社リビタ（東京都）が企画・運営
- ・病院であった建物をホテルに用途変更・リノベーション
- ・「地域との共生」をコンセプトに広島の担い手たちと人々が集う場づくりをしている